

J A たじまの主な事業の内容

信用事業

J Aの信用事業とは

J Aで行っている信用事業は、組合員・利用者から貯金を預かり、それを原資として、組合員等に貸出を行うものです。また、J A・信連・農林中金の三段階の組織による結びつきで、『J A系統金融 = J Aバンク』を構成し、各種金融サービスを提供しています。

なお、J Aバンクは貯金の保全対策として、国の公的な制度である『農水産業協同組合貯金保険制度』に加入しています。またJ Aバンク独自の制度として、J Aバンク支援協会により運営されている『J Aバンク支援基金』の活用等による経営破綻を未然に防止する枠組み(J Aバンク・セーフティネット)も整備されています。

さらに当J Aの貯金は、J Aバンク兵庫として組合員・利用者の皆さまにより大きな”安心”を提供するために構築された『兵庫県版J Aバンク・セーフティネット』によっても守られています。

このようにしてJ AたじまとJ Aバンクは、皆さまからお預かりしています大切な貯金を万全の体制で保全しています。

多様な商品とサービスをご利用ください

J Aたじまの信用事業では、組合員・利用者からのニーズに応え、地域の皆さまから親しまれる金融機関をめざし、商品とサービスの拡充に取り組んでいます。

年金受給者の皆様には、グラウンド・ゴルフ大会や歌謡ショーなどの『年金友の会イベント』を実施するとともに、女性の皆さまを対象に、協賛店で様々な特典が受けられる『アミカ』の取扱いを行うなど、他の金融機関にない商品・サービスの提供に取り組んでいます。また、貸出金では、住宅ローンでは『三大疾病保障付住宅ローン』の取扱いを開始するとともに、定期的に休日のローン相談会を開催しています。また株式会社日本政策金融公庫をはじめとする政府系金融機関等の代理貸付も取り扱っています。

なお、J Aたじまが取り扱う主要な商品については次ページをご覧ください。

商品のご案内

商品については約款の内容などをご確認いただき、ご不明な点は店頭窓口もしくは渉外担当者までお問い合わせ下さい。

	貯金	(1) 貯金 当座貯金、普通貯金、貯蓄貯金、通知貯金、定期貯金、別段貯金、納税準備貯金などを取り扱っています。 (2) 譲渡性貯金 譲渡可能な定期貯金を取り扱っています。
ためる・ふやす	国債・投資信託など	(1) 国債 ニーズに合わせた、様々な種類の国債がお選びいただけます。目的に合わせてご利用ください。 (2) 投資信託 ライフプランやニーズに合わせた様々な商品をご用意しています。
	その他	財形貯蓄などもご利用いただけます。
かいる	お借り入れ	農業資金のほかに、暮らしに必要なさまざまな資金をニーズに合わせてご利用いただけます。
	ネットバンク	窓口やATMにいかなくても、お手持ちのパソコン・携帯電話からインターネットを通じてアクセスするだけ。平日、休日を問わず、残高照会や振込・振替などの各種サービスが24時間いつでもお気軽にご利用いただけます。また各種料金などの振り込みサービス Pay-easy(ペイジー)の取扱いも行っていきます。
べんりにつかう	内国為替・外国為替	送金為替、振込等を取り扱っています。また外国送金など外国為替に関する各種業務も行っています。
	金銭出納事務の取扱	地方公共団体の指定・収納代理金融機関業務、日本銀行代理店業務等を行っています。
	その他	確定拠出年金(個人型)の取扱いや遺言信託の取次を行っています。詳細は支店窓口が渉外担当者までお問い合わせください。

共済事業

総合的な生活保障の確立に向けて取り組んでいます

相互扶助の精神に基づいて、ＪＡ組合員の生命や住宅や車・農機具などの財産を守るために行っている事業がＪＡの共済事業＝ＪＡ共済です。

ＪＡ共済は、活動当初より一般の生命保険と損害保険の両分野の機能を併せ持っていますが、幅広い商品の中から、組合員・利用者の皆さまにご満足いただける商品提供を行うため、近年はライフアドバイザー（ＬＡ：共済普及専任担当者）が中心となり、「ひと・いえ・くるま」の総合保障をお届けしています。

自動車共済の交通事故処理については、事故処理の専門スタッフを各拠点に配置し、高度な査定・交渉技術により、加入者に満足いただける体制をとっています。また専門職員と顧問弁護士による交通事故相談も好評をいただいています。

ＬＡ 59名

事故相談センター 4カ所（豊岡・温泉・八鹿・和田山）

災害時における対応について

平成16年10月、但馬地区は台風23号による甚大な被害を受けました。ＪＡたじまの組合員にも大きな被害がありましたが、豊岡・日高・出石地区の特に甚大な被害のあった地域では、ＪＡたじまの職員が共済契約者世帯を一軒一軒訪問し被害調査を行いました。共済金の支払総額が80億円を越える過去に類を見ない支払いとなりましたが、この被害調査により迅速な支払いを行うことができました。

これからも「相互扶助」に基づいた共済普及につとめるとともに、災害発生時には系統組織とともに迅速な対応を行い、組合員・共済契約者に安心の提供につとめます。

なお、台風23号に関する支払い実績は次ページのとおりです。（行政合併前の表記となっています。）

ＪＡ共済の安心・安全度

ＪＡ共済の契約は、ＪＡたじまとＪＡ全共連（全国共済農業協同組合連合会）が共同でお引き受けしています。ＪＡたじまではＪＡ共済の窓口として、またＪＡ全共連は商品開発や資産運用業務・支払共済金にかかる準備金の積み立てなどを行っています。

ＪＡ共済の「ひと・いえ・くるま」の保障は国内トップクラスの契約量（平成20年度のＪＡ共済全国実績は生命総合共済の契約件数：約1,387万件、建物更生共済の契約件数：約1,192万件、自動車共済の契約件数：約849万件）となっています。またＪＡ全共連における、ソルベンシーマージン比率（支払余力）は、平成21年3月末現在において857.6%となっています。

J A 全共連では、総資産のうち、41 兆円余りの運用資産について、安定的な収益を確保できる国債などの公社債を中心に、安全・確実な運用を行っています。

平成 16 年の台風 23 号における支払い実績

行政合併前の表記をしています。

市 町	建物更生共済		自動車共済	
	支払件数	支払金額（千円）	支払件数	支払金額（千円）
豊岡市	2,313	4,135,704		
城崎町	603	741,914		
竹野町	53	52,834		
香住町	32	60,979	802	582,948
日高町	773	1,535,202		
出石町	422	725,777		
但東町	137	214,182		
村岡町	40	6,144		
美方町	15	6,006	42	30,476
温泉町	24	11,854		
浜坂町	49	52,793		
養父市	548	441,906	62	42,679
生野町	10	5,916		
朝来町	20	2,660		
和田山町	128	107,346	21	16,647
山東町	17	1,788		
合 計	5,184	8,103,012	927	672,752

総額で 87 億 7,000 万円の支払いとなりました。また建物更生共済については 1 契約平均で約 156 万円のお支払いとなりました。

営農・畜産事業

J A たじまでは、『生産部会を中心にした農業振興』を基本とした『稲作振興方針』『特産振興方針』『畜産振興方針』をに基づいた営農・畜産事業の活動を行っています。但馬各地の生産者を、作物別に組織化し、販売と生産の現場を結ぶ営農指導とともに、トレーサビリティに対応した資材の供給や、生産技術の向上をはかり、但馬の農業振興をすすめています。

自然環境と共生する農業をめざして

平成 17 年 9 月に豊岡市で放鳥されたコウノトリは、一度絶滅した野生動物を世界ではじめて復帰させた取り組みとして注目を集めました。



そして今は『コウノトリとの共生』のため、各地では様々な取り組みが行われています。その中でも、コウノトリの主な生活の場となる水田を保全するため、J A たじまでは、組合員が中心となって様々な環境保全型農業を行っています。特に「コウノトリ育むお米生産部会」では、環境に負荷の少ない農業に生産者が一丸になって取り組むとともに、集落などとも連携して、休耕田のビオトープ化や冬季湛水の実施を行っています。

このように生産されたお米は、京阪神地区を中心に高付加価値米として販売されています。また酒造メーカーでは、この農法で作られた酒米を利用した新しい商品の開発なども行われています。



豊岡市出石町で全量が契約・有機栽培されているフクノハナを 100%使用した日本酒「コウノトリの贈り物」が石川県の酒造メーカー「福光屋」で作られました。



粃米(もとまい)から掛米(かけまい)まで全て豊岡産のコウノトリ育む農法(無農薬・無化学肥料)で栽培された特別栽培米「五百万石」を原料に使用した「純米大吟醸 幸の鳥」が朝来市山東町の田治米合名会社で作られました。精米が難しいとされる五百万石を精米歩合 40%まで磨き上げ、純米大吟醸を完成させました。

さらに、JAたじまでは、環境への負荷が少ない農法を水田以外にも展開するため、平成 15 年度に「JAたじま特別栽培農産物認定制度」を創設しました。認定された生産物は「コウノトリの贈り物」(ロゴマークを参照下さい)として出荷を行っています。

今後も生産者・関係団体と連携し環境保全型農業の実践・開発を行うとともに、各地への普及に取り組んでまいります。

「コウノトリの贈り物」ロゴマーク



組合員が愛情を込めて育てた
JAたじま認定特別栽培農産物の名称です。

優良米の産地として

稲作では、コシヒカリを中心に、安全で高品質な米の生産につとめており、兵庫県内における優良産地として高く評価されています。また、コープこうべと契約し、減農薬・減化学肥料で栽培を行っている「つちかおり米」をはじめ、アイガモ農法・ペーパーマルチ栽培・稲架による自然乾燥など環境に配慮した特色ある米の生産・販売もすすめています。

また但馬は、古くから優良な酒米産地として評価されてきました。現在では、主に兵庫北錦・五百万石・フクノハナといった品種の契約栽培を行っています。特にフクノハナは、蔵元との結びつきから全量を、減農薬・減化学肥料栽培に転換し、出荷を行っています。

米の消費が落ち込む厳しい販売環境の中、買っていただける米づくりのため、栽培講習会・研修会を開催して品質の高位平準化につとめるとともに、試験圃・試作圃を設置し、地域の栽培環境に適した優良品種の検討も行っています。

但馬米の販売拡大にもつとめています

但馬の美味しいお米を有利に販売するため、販売活動の強化にも積極的に取り組んでいます。契約栽培により、安定した販売先を確保するとともに、販売と生産が連携した商品開発を行うことで、消費者に安全・安心で美味しいお米をお届けしています。さらに一般米についても、栽培方法を均質化して、他産地よりも有利な販売につなげるようにしています。

また、豊岡市内の「地米屋」では、お米の地産地消をはかるとともに、消費者の声を美味しいお米づくりに反映させる取り組みを行っています。



地米屋

営業時間 月～土 午前10時～午後6時

〒668-0032 兵庫県豊岡市千代田町 2-17

TEL・FAX 0796-29-3360

地域の特性を活かした特産物づくり

管内の多くが中山間地域であり、栽培農地も零細な圃場が分布するとともに、多様な栽培条件があるため、各地域の特色を活かした多彩な特産物づくりをすすめています。中でも、ダイコン・キャベツ・ピーマンは、国から野菜産地の指定を受けており、その品質は高く評価されています。他にも、ねぎ・トマト・ハウレンソウ・キュウリ等が県から野菜産地の指定を受け、生産基盤の拡大や市場対応力の向上をめざしています。



神鍋高原でのキャベツの収穫

平地との温度差を活かした高原野菜は、消費者の皆さまからも高い評価をいただいています。

名牛『但馬牛』の産地としての責任と誇り

日本が誇る名牛「但馬牛」は、優れた伝統と血統を持っています。その起源は古く、平安時代に編纂された『続日本書紀』ですでに「耕運、輓用、食用に適す」と紹介され、古来より優秀な血統として認められています。その伝統を守り、他府県牛との交配を避けながら改良を重ねた牛が、現在の「但馬牛」となっています。

古くから但馬で農耕用として飼育されてきた「但馬牛」は、肉質のすばらしさにより「神戸牛」・「松阪牛」などの素牛として全国的に知られています。「但馬牛」の特徴として

資質が抜群によいこと。

遺伝力が非常に強いこと。

肉質、肉の歩留まりがよいこと。

長命連産で飼料の利用性がよいこと。

などがあげられます。

日本人が牛肉を食べるようになったのは明治以降であり、それまでは小型で丈夫・多産の但馬牛は、棚田など小面積の水田が多い但馬地方で家族同様大切に育てられてきました。

1310年に描かれた「国牛十図」にも但馬牛は取り上げられ、皮膚や被毛・角・蹄・体のしまりなど資質の優れた牛として評判が高かったことをうかがい知ることができます。

そのような中、平成19年に、JAたじまが兵庫県内の関係機関を代表して申請した「但馬牛(たじまうし)」という商標が「地域団体商標」として登録されました。「地域団体商標制度」とは、地域ブランドを適切に保護することで、事業者の信頼の維持と産業競争性の強化、地域経済の活性化を支援する制度です。登録された「但馬牛(たじまうし)」とは、生きた牛を対象としたもので、「兵庫県産主に但馬地方産の和牛」としています。

JAたじまでは、この地域ブランドとなった「但馬牛(たじまうし)」の血統を守っていくために力を尽くすとともに、今まで以上の増頭振興に取り組み、「但馬牛」の名声向上につとめます。



平成20年10月に開催された「第90回兵庫県畜産共進会」では、種牛の部で新温泉町の植田秀作さんの「つねふく」が名誉賞に輝きました。団体表彰においても、JAたじまが種牛の部で優勝しました。

生活文化・高齢者福祉事業

生活文化活動

女性会を中心に、史跡訪問教室、大正琴や生け花、着付けなどのカルチャースクールが自主的な活動として行なわれています。JAたじまでは、組合員のグループ活動を積極的に支援し、組合員の仲間づくりや生きがいづくりに取り組んでいます。

また、自治体など関係機関と連携して「町ぐるみ健診」・「骨粗しょう症健診」を実施し、参加の呼びかけと事後指導を実施している他、料理教室での食生活改善など健康管理活動にも取り組んでいます。

高齢者福祉活動

JAたじまでは豊岡・村岡・八鹿・和田山の4つの介護センターと2つのデイサービスセンターで高齢者福祉事業を行っています。また、高齢者福祉事業基本計画において5つの活動方針を掲げ、より質の高いサービスの提供と、安心してご利用いただける事業所をめざして「訪問介護事業」「居宅介護支援事業」「通所介護事業」の介護保険事業・介護予防事業に取り組んでいます。

平成19年4月より各介護センターで介護保険対象外のJA独自サービスとして「高齢者生活支援事業」を開始しました。さらに和田山介護センターでは「外出支援サービス」も行い、利用者の利便性向上につとめています。



豊岡市内の、デイサービスセンター2カ所の運営受託を受けて、通所介護事業を行っています。

LPガス・生活購買・旅行事業など

保安の充実による安全と安心・信頼の提供（LPガス）

地域の大切なライフラインのひとつとして、安全・安心・信頼の負託に応えられるサービスの提供につとめています。

24時間保安体制をとって緊急対応を行うとともに、バルク供給システムなども導入し、安定的なガスの供給につとめています。

暮らしをもっと豊かにする、JAの生活購買

食品や日用雑貨・耐久消費財など、JAの組合員が、よりよい暮らしに必要なものを、組合員が直接選んで購入する事業がJAの生活購買事業です。安全・安心な商品を選別し、使用の際の商品研修等を実施しながら行われる共同購入のほかに、女性会が中心となって旬の果物などの産地直接購入なども行なっています。

旅行事業

JAたじまでは、農村や農家の旅行需要の増加に対応して開始されました。組合員や利用者のニーズに応えるため、広報活動を通して最新の旅行・観光情報の提供につとめています。また近年では、JAグループ全体で、都市と農村を結ぶグリーンツーリズムなどにも取り組んでいます。

イベント活動

地域とのふれあいと新しい絆づくりを求めて、「但馬まるごと感動市」などの大規模イベントに参加するとともに、但馬各地のイベントにも積極的に参加し、地域とのふれあいにつとめています。

また、ゴルフ・バレーボール・囲碁大会などの各種イベントを開催し、組合員や地域のみなさまに、JAを通じ、幅広い世代間で楽しく交流いただいています。

広報活動

組合員や地域の人々との「いい関係づくり」を目的とした広報誌「リレーション」を毎月発行しています。また、FM放送への番組出稿や日本農業新聞、家の光への出稿、新聞各紙・TV局への原稿・話題提供などにもつとめるとともに、ホームページを開設して、JAたじまの情報を発信しています。



JAたじまのホームページでは、但馬の農業の最新情報を発信しています。最新情報のRSS配信も行っていますので、ぜひご利用ください。

<http://www.ja-tajima.or.jp>

JAたじまのホームページは、こちらの検索からもご覧いただけます。

JAたじま	検索
-------	----